第49回 名古屋国際音楽祭

ハンガリー国立歌劇場

モーツァルト

「魔笛」

（日本語字幕付）

デジレ・ランカトーレ

指揮
ヤーノシュ・コヴァーチュ

Cast

パミーナ
デジレ・ランカトーレ
（※アンドレア・ロストから変更になりました。）

夜の女王
アレクサンドラ・オルチク

アレクサンドラ・オルチク

管弦楽・合唱
ハンガリー国立歌劇場管弦楽団・合唱団

6/26金 18:30開演（18:00開場） 愛知県芸術劇場大ホール

S席 25,000円　A席 20,000円　B席 15,000円　C席 12,000円　D席 9,000円　U25席 5,000円

※U25席はアイ・チケット（電話）のみの取扱いです。25歳以下で来場時に年齢確認します。（おひとり様1公演につき1枚限り）　※車椅子（A席）のお客様はご購入前にアイ・チケットまで必ずお問合せください。
※入場料金には消費税が含まれております。　※やむを得ない事情でプログラム内容、出演者など変更になる場合がございますのでご了承ください。　※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

チケットのお求めは
一般発売
11月23日（日・祝）

- ●アイ・チケット　0570-00-5310 ／ https://clanago.com/i-ticket
- ●チケットぴあ　https://t.pia.jp + Pコード 309-524
- ●ローソンチケット　https://l-tike.com + Lコード 43575
- ●芸文プレイガイド　052-972-0430
- ●栄プレチケ92　052-953-0777
- ●e+（イープラス）　https://eplus.jp
- ●CBCチケットセンター　https://www.funity.jp/cbc-ticket/

お問合せ
CBCテレビ 事業部
TEL（052）241-8118　10:00～18:00（土・日・祝日休み）

最新情報は、CBCテレビのホームページでご確認ください。 CBC 名古屋国際音楽祭 検索

CBCテレビ

主催／CBCテレビ　後援／愛知県・中日新聞社・CBCラジオ

ウィーン国立歌劇場と並び称された伝統と実力のオペラハウスが贈る、「魔笛」
“夜の女王のアリア”“パ・パ・パ”など、名曲・名場面満載のファンタジー・オペラ！

ハンガリー国立歌劇場

ドナウの真珠と称えられる美しい街並みのブダペストで、とりわけ壮麗な外観と細部まで丹念に仕上げられた見事な内装を誇るハンガリー国立歌劇場。1884年のこけら落とし公演には皇帝フランツ・ヨーゼフ1世が臨席。ハプスブルグ帝国の二大王立劇場としてウィーン国立歌劇場と並び称された。開場後まもなく28歳の若きグスタフ・マーラーが音楽監督・指揮者を務め黄金時代を築いた。プッチーニは当劇場で「蝶々夫人」と「マノン・レスコー」を自ら指揮した。バルトークも「青髭公の城」や「かかし王子」の初演を果たすなど世界のオペラ界で重要な役割を担ってきた。マーラーがウィーン国立歌劇場に移ったあとも伝説的指揮者アルトゥール・ニキシュを音楽監督として呼び劇場の名声はさらに高まった。近年になってもハンガリー政府の文化政策の中核を担い、クレンペラー、カラヤン、ショルティといった綺羅星のような指揮者が次々と登壇してきた。音楽監督として活躍してきたヤーノシュ・コヴァーチュもモーツァルトからイタリア・オペラ、ワーグナーまで幅広いレパートリーを持ち、高い音楽水準を保ってきた。

パミーナ
デジレ・ランカトーレ
Desirée Rancatore

シチリア島パレルモ生まれ。数々の国際声楽コンクールで優勝して注目され、18歳でザルツブルク音楽祭《フィガロの結婚》で華々しいオペラデビューを果たす。《ホフマン物語》オランピアなどで国際的に高い評価を得て、パリ・オペラ座、英国ロイヤル・オペラ、ウィーン国立歌劇場など世界最高峰の歌劇場に次々と客演。特に、2004年ムーティに抜擢された、リニューアル後のミラノ・スカラ座のオープニングでは聴衆や批評家から大絶賛され、ソプラノ歌手として確固たる地位を確立する。コロラトゥーラの女王としての名声を得て、2007年ベルガモ・ドニゼッティ劇場《ランメルモールのルチア》のタイトルロールで初来日して、注目を浴びる。ボローニャ歌劇場と2011年《清教徒》,2019年《リゴレット》、2017年パレルモ・マッシモ劇場と《椿姫》で来日を重ね、日本のファンを熱狂させる。声の成熟と同時に徐々にドラマティックな役柄にもレパートリーを広げ、2017年《マリア・ストゥアルダ》、2018年《ノルマ》でデビューし、さらなる進化をとげる。近年も、フェニーチェ歌劇場《ドン・ジョヴァンニ》、ローマ歌劇場《ラ・ボエーム》、パレルモ・マッシモ劇場《ノルマ》など、イタリアを代表する歌劇場に出演。高度なテクニックで今なお第一線で活躍を続け、ファン待望の来日公演となる。

夜の女王
アレクサンドラ・オルチク
Alexandra Olczyk

ポーランド出身で、世界の一流オペラ座から出演依頼の絶えないコロラトゥーラ・ソプラノの第一人者。ポーランド各地の国際コンクールに多数入賞し、ワルシャワのポーランド国立歌劇場でドンナ・フィオリラ（イタリアのトルコ人）、ベルリンのコーミッシェ・オーパーとウィーンのフォルクスオーパーで夜の女王（魔笛）を歌い一躍注目を集める。その後、メトロポリタン歌劇場、英国ロイヤルオペラ、ベルリン国立歌劇場、パリのシャンゼリゼ劇場、マドリード王立劇場、ローマ・オペラ座、ドレスデンのゼンパーオーパー、グラインドボーン音楽祭など世界のほぼすべての主要な歌劇場で夜の女王を歌い圧倒的な成功をおさめ続けて、オーストラリア音楽業界のヘルプマン音楽賞（2019年最優秀女性パフォーマー）とポーランド音楽産業賞（2020年Koryfeusz Muzyki Polskiej）を受賞する。

指揮 ヤーノシュ・コヴァーチュ Kovács János

1951年にブダペストに生まれ、フランツ・リスト音楽大学を指揮、続いてピアノを学んで卒業すると、すぐにハンガリー国立歌劇場にコレペティトーアとして加わる。1976年から同歌劇場専任指揮者。1979～81年にはバイロイト音楽祭でピエール・ブーレーズの音楽助手を務め、84年にはハンガリー政府からフランツ・リスト賞を受賞するなどキャリアを積んだのち、87～90年にハンガリー国立歌劇場首席指揮者。その後も同歌劇場音楽監督代行などを務め、2007にふたたび首席指揮者に就任し、現在にいたる。
また、ハンガリーの主要な交響楽団を指揮するほか、ヨーロッパの主だったオーケストラや歌劇場にたびたび客演。レパートリーは古典やロマン派から現代音楽まで幅広い。1992～98まで東京フィルハーモニー交響楽団の首席客演指揮者を務めるなど、日本との縁も深い。

プロフィール 香原斗志（オペラ評論家）

第49回 名古屋国際音楽祭 2026年3月15日(日)～6月26日(金)

会場 3/15・4/5・4/19・5/19・5/29・6/5・6/21：愛知県芸術劇場コンサートホール｜6/26：愛知県芸術劇場大ホール

3/15(日) 15:00 開演	五嶋みどり with ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団	5/29(金) 18:45 開演	フランス放送フィルハーモニー管弦楽団 × 藤田真央
4/5(日) 15:00 開演	イム・ユンチャン ピアノ・リサイタル	6/5(金) 18:45 開演	久末 航 ピアノ・リサイタル
4/19(日) 15:00 開演	名古屋国際音楽祭 ガラ・コンサート	6/21(日) 15:00 開演	ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団 × 亀井聖矢
5/19(火) 18:45 開演	チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル	6/26(金) 18:30 開演	ハンガリー国立歌劇場 モーツァルト：歌劇「魔笛」

※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。
※いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。※開演後の入場については、入場制限をさせていただきます。